



しあわせ信州

# 伊那建設事務所だより

H30. 7. 30 VOL5

## 最近の主な出来事をご紹介します。

◇「道の駅 田切の里」のトイレが県設置の道の駅として初めて「信州まごころトイレ」に認定されました。(平成30年5月24日)

長野県では県内の観光地のイメージアップを図るため、信州まごころトイレプロジェクトを推進しています。

国道153号 飯島町田切の「道の駅 田切の里」が、洋式化や水洗化、定期的な清掃など様々な認定基準を満たし、県設置の道の駅としては初めて「信州まごころトイレ」に認定されました。



【道の駅 田切の里全景】

【道の駅 田切の里トイレ】

◇道路クリーン作戦に参加しました。(平成30年6月22日)



【駒ヶ根地区出発式の様子】



【集まったゴミ（辰野5班の例）】



【クリーン作戦の様子】



上伊那地域の建設産業関連団体による奉仕活動の一環として1981年（昭和56年）以来、毎年行われている道路クリーン作戦に参加しました。

建設関連団体の皆さん、市町村、伊那建設事務所を合わせて367人が参加し、県道など延べ48路線、約280kmの区間でゴミ拾いを行いました。

参加者の熱心な取り組みにより多くのゴミが拾い集められ、上伊那地域全体では、空き缶・びん38袋、可燃ゴミ89袋、不燃ゴミ234袋になりました。前年比では96.8%の量でした。

## ◇高校生の丁張り実習を実施しました。(平成30年6月29日)

上伊那農業高校創造緑地課環境エンジニアコースの2年生22名を対象に丁張り実習を実施しました。これは建設産業への理解拡大と次代を担う人材確保に向け、建設系学科高校生等を対象とした就労促進及び若手技術者の育成につなげる取組みの一環として長野県建設業協会伊那支部との共催により行ったものです。講師には、浅川建設工業株式会社から6名来ていただきました。



【全体説明の様子】



### 「丁張り」とは

構造物を設置したり、切土・盛土を行う際にその位置や高さなどの目印となるものを、木杭やぬき板、水系などを使って示すものです。今回は県で発注している箕輪町の砂防堰堤工事のための工事用道路の現場で切土の丁張りを設置しました。



【実習中の様子】



【ドローン操作の様子】

測量器械のトータルステーションやトランシット、レベルを使って丁張りの位置や高さを測定し、実際に施工に使用する丁張りを設置しました。

参加した高校生は皆真剣に取り組み本番さながらの丁張り設置ができました。高校生からは測量器械の使い方が難しかったが、建設現場での測量や丁張りの重要性がわかってよかったという感想がありました。

また、現場全体の状況をドローンを使っての撮影も体験しました。